

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型障がい福祉サービス事業所あつぷ		
○保護者評価実施期間	令和8年 5月 1日		～ 令和8年 5月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和8年 5月 1日		～ 令和8年 5月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 5月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所外での活動が多い。	地域との関わりが持てるよう、公園へ行って地域の学童との交流を持ったり、地域のイベントや、事業所対抗のドッジボール大会に参加するなどしている。また、買い物学習や資料館等へ出かけるなど、様々な場所へ出かける事で、TPOに応じた振る舞いが学べるよう心がけている。	特定の公園や学童との交流だけでなく、地域の様々な施設との交流を持てるようにする事で、医療や教育・福祉以外の一般施設で居場所を作りがえるよう連携出来るようにしていく。
2	児童の希望を活動内容に反映させている。	毎月活動内容を決める話し合いで、児童も参加して一緒に決めているので、活動プログラムに児童の希望を反映させやすい。興味のあることや、個別に必要と思われる内容を活動に取り入れる事で支援の充実を図っている。	進学・自習・就労等を意識した取り組みを、年齢に応じて個別に実施できるようにしていく。移行後の生活で自立して過ごせるよう、路線バスを使って移行先へ移動出来る能力を培うなど、必要な能力を伸ばしていけるような支援に力を入れたい。
3	こどもの状況について保護者と共通理解ができています。	連絡帳や、送迎時の引き継ぎのほか、個別に電話やメール等でのやりとりを行うようにしている。また必要に応じて自宅の様子を確認する等も行う事で個別の相談などを受けやすくしている。	今後も丁寧な情報共有を意識して対応していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者に向けた情報発信・状況提供が不十分である。	マニュアル等の説明について契約時に説明しているが、十分に伝わっていない。また活動状況などをInstagramで発信しているが把握していない保護者が多かった。	繰り返し発信することで認知してもらえるようにしていく。また投稿回数も増やしより状況把握がしやすいように努めていく。マニュアルの種類や内容については、その時々々の支援やモニタリングの内容とからめながら適宜伝えていきたい。
2	自立支援協議会への参加や、児童発達支援センター等との連携などが少ない。	現在関わっている関係機関(医療・福祉・教育)との連携で完結していた。	自立支援協議会やその他、地域の資源に関する情報を積極的に入手し、連携をとれるようにしていく。
3	父母会の活動支援や保護者会等の開催、保護者同士の交流の機会が設けられていない。	今まで、父母会の要望に関して「なくても良い」との意見がみられたため取り組みは遅れていた。	今回の保護者評価にて、「実施されるのであれば参加してみたい」と話があったため、他の保護者の移行も確認しつつ開催について検討していきたい。